

東日本大震災後の地域社会活動参加状況が、被災者の健康に与える影響の検証

1. 研究の対象

「岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究(RIAS Study ; 平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働科学特別研究事業))」において、陸前高田市で研究参加に同意した方

2. 研究目的・方法

陸前高田市における被災者の地域活動参加状況の実態把握と、RIAS Study で把握される健康状態との関連を検討します。

具体的には、

「人とのつながりといった社会支援環境の程度が高い地区の住民、ならびに地域社会活動への参加率が高い地区に住む住民は、低い地区に住む住民と比べて、疾患や虚弱、メンタルのリスクが低いかどうか」について明らかにしていきます。

2019～20 年度の陸前高田市での被災者健診の調査票に併せ、地域社会活動参加状況について追加設問を行います (A4 半ページ程度)。その後、RIAS Study で収集されたデータと併せ、陸前高田市の皆様の地域社会活動参加状況の実態把握と、健康状態との関連を検証します。

研究期間は、岩手医科大学倫理委員会承認日から 2022 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に使う情報の種類

ともにアンケート調査の項目のデータを使用します。

○本研究にて新たにお伺いする項目 (調査で追加される項目)

地域社会活動参加状況

- 1) 以下の種類の集まりや活動に、どのくらいの頻度で参加するか
; 健康教室、食事会、体操、合唱、趣味、等
- 2) そのときの交通手段: 自家用車、バス、ボランティア輸送、タクシー等

○すでに RIAS study の調査票にて毎年お伺いしている項目 (既存の項目)

- 1) 被災に関する被害状況、等
- 2) 生活習慣、疾患既往、等
- 3) 居住形態、外出頻度、等
- 4) 生活環境、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、調査票の情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもあなたに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

佐々木亮平

岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

TEL：019-651-5111（内線 5410）

FAX：019-698-1961

E-mail：ryou-hei-1115@topaz.ocn.ne.jp

研究責任者：

坪田恵

岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座

-----以上